



広報

No.297

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成8年9月末現在)

世帯数	9,684世帯
人口	30,137人
男	15,331人
女	14,806人

9月の人口移動			
出生	43件	死亡	7件
転入	97件	転出	71件
婚姻	11件	離婚	6件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



△翁長正貞町長の初登庁を拍手と紙吹雪で出迎え

として保存すると便利です

町民本位の“町づくり”を

—— 翁長正貞町長就任式 ——

九月八日に執行された西原町長選挙で第六代西原町長に当選した翁長正貞氏の町長就任式が、十月七日午前、町役場正面玄関前で開催されました。

午前八時半に町役場に到着した翁長町長を、職員や支持者らが花道をつくり、紙吹雪や拍手で出迎えました。

翁長町長は「町民と職員が一丸となって、手づくりのまちづくりを進めたい」とあいさつしました。また、職員を代表して我謝孟功総務課長があいさつしました。

十時からは、町役場二階会議室で、町役場職員を対象とした全体職務会が開かれ、あいさつした翁長町長は「三万町民の福祉向上のために、共に頑張りましょう」と、町政への意気込みを述べました。

なお、翁長正貞氏の基本姿勢は次の通り。

【基本姿勢】

▽沖縄の立場を踏まえ、護憲、反戦平和、国際交流を基調とする町づくりをめざします。

▽地方分権の時代に対応した、政策立案力の高い、個性的で自立的な町づくりをめざします。

▽町民対話を基調に、信頼感をもてる町政を確立し、町民が主体的に参画できる町づくりをめざします。

町長就任あいさつ

△第6代西原町長となった
翁長正貞氏

就任のごあいさつ

私は、去る九月八日執行の町長選挙において多くの町民の皆様のご支持・ご支援を賜わり町長に就任することができましたことに申しあげます。深く感謝を申し上げます。

選挙はもとより民主主義の基本原理であり、主権者たる町民の町づくりへの参加の手段としてその意義は大きいものがあります。

今回の町長選挙では私にとりまして大変きびしいものがありました。ここに町民の

厳正な審判が下り、町長に就任した今、改めてその責任の重大さを痛感しており、今後初心を忘れることなく町民の負託にこたえるため、「誠実」をモットーに公約の実現に最善の努力をはらって参りたいと考えております。

また、これまで三期十二年にわたり町政の発展にご尽力された平安恒政前町長に対し、心からの敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、私は基本政策の中で

も、特に平和の問題については、去る大戦での悲惨な体験を無にすることなく、戦跡の保存・資料の収集等を図るとともに、この度の全国初の県民投票の成果を踏まえ、護憲・反戦平和・命どう宝を基調に終戦五十一年目を「平和元年」と位置づけ、子々孫々に「平和」という貴重な財産を引き継ぎたいと考えております。

また、真の地方分権時代にふさわしい町民本位のまちづくりを基本に、「文教のまち西原」の顔づくりに向けた図書館等文化施設の整備や各種都市基盤整備を図るとともに、多様な行政施策を推進するため、事務事業の見直しをはじめ、行財政の計画的な運営と財源の適正配分による財政の健全化に努めます。さらに、真の男女共同参画社会の実現のために、女性の行政への参画、町の政策決定の場への女性登用を積極的に推進

し、パートナーシップあふれるまちづくりを図ります。

このような山積する課題を解決するに当たっては、まず、役場の執行体制の確立が急務であり、総合相談窓口などの設置等行政機構の改革をはじめ、事務の電算化、権限の委譲、職員研修の充実等執務環境の整備を図り、住民サービスの向上に努めて参ります。

以上、町政運営の基本的考え方を申し上げましたが、今後、すべての町民がこれまでの選挙運動期間中の意見や立場の相違を乗り越え、三万町民の共通の願いである町民福祉向上に向けて結集することこそ大切であります。

どうか、二十一世紀に向けて子や孫に誇れる「文教のまち西原」の実現に向けて、町民各位のご指導・ご鞭撻・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつと致します。

平安町政

十二年の主な歩み

- 昭和五十九年
 (十月) 六日 平安恒政氏、第三代西原町長に就任
 二十四日 学校問題等基本計画策定委員会、中学校分離の件について答申
 昭和六十年
 (三月) 二十日 東部清掃施設組合の新ゴミ処理工場落成式
 (四月) 二十四日 坂田小学校体育館落成式
 (五月) 四日 町人口二万人を突破
 (十一月) 十三日 町健康づくり推進協議会発足
 (十二月) 十六日 町健康づくり推進協議会発足
 昭和六十一年
 (四月) 十九日 西原町民体育館落成記念式典
 (八月) 二十二日 町社会福祉協議会法人化十周年記念式典
 (十月) 五日 「非核反戦平和宣言の町」 広告塔除幕式
 昭和六十二年
 (二月) 二十三日 町水道事業二十周年記念式典
 (五月) 十日 「期限内納税・青色申告推進の町」 宣言
 (七月) 一日 第一回西原町音楽祭
 (四月) 二十一日 「平安町長と語る行政懇談会」 実施(六月十二日)
 (五月) 二十六日 西原運動公園開園式
 (六月) 八日 西原小学校水泳プール落成式
 (七月) 十六日 第一回町健康づくり推進大会
 (九月) 七日 「町長と語る婦人の集い」 開催
 (十月) 十四日 「町史第二巻・西原の戦時記録」 出版祝賀会
 (十二月) 二十六日 海邦国体バスケットボール競技成年男子
 昭和六十三年
 (二月) 十三日 第一回西原町文化祭(十三日)
 (三月) 一日 財務会計システムの電算化
 (三月) 二日 第一回西原町自主財源確保推進大会
 (三月) 三十一日 町社会福祉協議会発展計画策定
 (四月) 一日 町公有水面埋立基本計画答申
 (七月) 五日 西原東中学校分離式及び開校式 祝賀会
 (八月) 十三日 町墓地地域指定検討委員会発足
 (八月) 十九日 町平和交流館(広島市へ派遣)
 十九日 第一回親子で学ぶ戦争体験平和バスツアー

町長退任あいさつ

△3期12年にわたり町政に
尽くした前町長平安恒政氏

退任のごあいさつ

朝夕しのぎやすい季節を迎えましたが、町民の皆様にはますますご健勝で活躍のこ
ととお喜び申し上げます。ま
た、去る九月八日の町長選挙
におきましては、多くの町民
皆様のご支援を賜りましたこ
とに対し、衷心より厚く御礼
申し上げます。

さて、私はこの度十月五日
付をもちまして任期満了によ
り退任することになりました。
た。
顧みますれば、祖国復帰の

年の昭和四十七年六月一日に
教育現場から当時の西原村役
場総務課長として奉職し、助
役を経て昭和五十九年十月六
日に第三代西原町長に就任致
しました。以来、三期十二年
間にわたり職員とともに「文
教のまち西原」建設に渾身
の努力を重ねてまいりまし
た。

である西原運動公園整備事業
をはじめ、西原東中学校及び
西原南小学校・幼稚園の分
離・開校、体育館・プール等
の学校教育施設整備、土地区
画整理事業、道路・排水等整
備事業、農業基盤整備事業、
上水道の整備、下水道事業の
推進、商工業の振興を図ると
ともに、マリン・タウン・プ
ロジェクトの推進に向けて
は、いよいよ事業着工にこぎ
つけることができました。

また、二十一世紀の本格的
な高齢社会の到来を視野に、
町老人保健福祉計画“ことぶ
きプラン”の策定・推進等地
域福祉の充実強化、シルバー
人材センターの設立、さらに、
平和・夏のアクションプラン
に基づく各種平和事業、国際
交流事業、女性行政、学推協
事業、青少年交流事業の推進、
西原まつり、町文化祭、西原
カップの開催、地域活性化事
業の推進、各種サミット等の
広聴活動、歴史的大事業であ
る第四十二回国民体育大会
(海邦国体)、第四十六回沖縄
県植樹祭の本町開催等、福祉
面をはじめ教育・スポーツ・
コミュニティ等の振興・発
展に努めてまいりました。

このように各種施策が推進
され、重責を全うすることが
できましたのも、偏に町民・
町議会はもとより、国・県及
び関係機関・団体各位のご指
導とご協力の賜であり、ここ
に改めて深甚なる感謝を申し
上げる次第でございます。

まだまだ山積する課題もあ
りましたが、後任の翁長正貞
町長の行政手腕に期待申し上
げ、今後は一町民として西原
町発展のためにいささかなり
とも尽力したいと存じますの
で、何卒これまで同様にご高
誼の程お願い申し上げます。

終わりに、町民皆様の今後
ますますのご健勝とご多幸を
心から祈念申し上げまして退
任のごあいさつと致します。

(九月)
五日 平安恒政氏、西原町長に二期連続無投票当選
(十一月)
五日 海邦国体開催記念植樹祭
(十二月)
八日 西原小学校分離計画策定専門委員会発足
平成元年
二十七日 町民陸上競技場起工式
(二月)
二十三日 「サンライズマリンピア西原」建設推進町民
大会
(三月)
二十日 町工業導入計画策定委員会が答申
(四月)
一日 町制施行十周年記念式典
十八日 西原中学校水泳プール落成式
二十六日 坂田小学校水泳プール落成式
(六月)
十五日 平成元年度町行政懇話会☆うんちゅと語や
びら・文教のまち
二十一日 中城湾南部MTP早期実現四町村民大会
(九月)
一日 「町史第四巻・西原の民俗」出版祝賀会
(十月)
一日 「ヤングシンボジウム」開催
三日 平成元年度「婦人と町政を語る集い」開催
(十一月)
四日 第七回西原まつり
十一日 西原中学校創立三十周年記念式典
二十五日 第一回西原町健康まつり
平成二年
(四月)
二十二日 西原町文化協会結成大会
(五月)
十八日 第一回農家の集い
二十八日 町人材育成会発会式
(七月)
二十五日 海外移住者子弟研修生及び英語指導補助員激
励会
三十一日 山梨県都留市・青少年ふれあいの旅交流団来町
(八月)
二十五日 町国際親善の集い「世界のウチナンチュ大
会」
(十一月)
二日 町行政区制度改編検討委員会答申
三日 第一回町文化祭(四月)
五日 平成二年行政懇話会「五区を除く」十区、
十六区
平成三年
(四月)
一日 新行政区スタート
三日 女性行動基本計画策定に向けて委嘱状を交付
六日 町地域づくり推進事業検討委員会が答申
(六月)
二十一日 「町史別巻・西原の民俗」出版祝賀会
二十三日 第一回西原町平和駅伝開催
(七月)
二日 第二次総合計画策定に向けた第一回策定委員
会開催
(八月)
二十五日 町民憲法推進協議会の委嘱状交付式
一日 町民陸上競技場供用開始
十三日 町ごみ問題対策協議会の委嘱状交付式
十四日 第一回町国際ボランティア貯金普及推進協議
会
十七日 ジュニア・サミット開催
二十日 町国土利用計画検討委員会委員の任命
(九月)
十日 第一回町総合計画審議会
(十月)
二十五日 第一回町文化協会美術・文芸・写真展(一二
十八日)

平安恒政氏、町長退任式 小川助役、稲福教育長も退任

十月四日午前、町役場二階会議室で、前町長平安恒政氏の退任式が行われました。

も協力していきたい」と述べました。

町長の任期満了日は十月五日ですが、同日は土曜日で閉庁日になるため、この日の退任式となりました。

退任式であいさつした平安氏は「今後は一町民として西原町発展のために微力ながら

また、町長退任式に先立ち、

一身上の都合により退任する三期十二年にわたり町政を支えた小川良夫助役、四期十二年半にわたり町教育行政を支えた稲福恭助教育長の退任を承認する辞令交付が行われました。



△10月4日午前、平安氏、小川氏、稲福氏がそれぞれ町長、助役、教育長を退任、退任式が行われた(写真左から小川氏、平安氏、稲福氏)。



小川良夫(おがわ・よしお)
字呉屋97番地在。
昭和31年県立知念高等学校卒業。

昭和三十七年に西原村事務吏員として財政課に勤務。経済課農林係長、経済課長、総務課長などを経て、昭和五十九年十二月に助役を拝命、以後三期十一年十月にわたり町行政を支え、平成八年十月に一身上の都合により辞職。



稲福恭助(いなふく・きょうすけ)
字上原245番地の2在。
昭和31年県立首里高等学校卒業。

昭和四十五年九月西原村議会議員に初当選、監査委員も勤める。昭和五十九年十月町教育委員会教育長に就任のため、四期十二年勤めた町議員を辞職。以後四期十二年六月にわたり町教育行政を支え、平成八年十月に一身上の都合により辞職。

- | | |
|---|---|
| <p>(二十八日) 町庁舎建設検討委員会委員職状交付式</p> <p>(十一月) 西原東小学校創立十周年記念式典及び祝賀会</p> <p>(二十日) 二一世紀創造学官懇話会</p> <p>(十二月) 町女性行政推進委員会委員職状交付式</p> <p>平成四年</p> <p>(三月) 町第二次基本構想答申</p> <p>(四月) 西原南小学校校舎完成並びに開校記念式典</p> <p>(五月) 西原中、西原東中両校のコンピュータ教室完成</p> <p>(九月) はばたき共同作業所開所式</p> <p>(九月) 児童福祉施設センター落成式</p> <p>(十月) 放課後児童対策事業開始式</p> <p>(六月) 町赤十字奉仕団結成大会</p> <p>(七月) 町教育相談事業開始</p> <p>(九月) 生ごみ処理器購入一部補助開始</p> <p>(九月) 復興二十周年記念事業検討委員会答申</p> <p>(九月) 町女性行動計画策定委員会答申</p> <p>(四月) 町庁舎建設検討委員会答申</p> <p>(四月) 西原東小コンピュータ教室CAI導入オープニングセレモニー</p> <p>(六月) 町女性行動計画(さわふじプラン)推進本部設置</p> <p>(七月) 町老人保健福祉計画策定検討委員会委員職状交付式</p> <p>(八月) さわふじプラン地域推進委員会委員職状交付式</p> <p>(九月) シルバーサミット開催</p> <p>(十月) 乳幼児育児相談事業開始</p> <p>(十一月) 町シルバー人材センター設立総会</p> <p>(十二月) 印刷登録証明電算化開始</p> <p>(十二月) 町戦没者顕彰平和祈念碑除幕式</p> <p>(十二月) シルバー人材センター事務所開き</p> <p>平成六年</p> <p>(三月) 町立坂田小学校コンピュータ教室CAI導入オープニングセレモニー</p> <p>(四月) 町制施行十五周年記念式典、祝賀会</p> <p>(五月) 町老人保健福祉計画(案)答申</p> <p>(五月) 西原東児童館落成式、祝賀会</p> <p>(六月) 町道路網及び水系調整整備計画検討委員会委員職状交付式</p> <p>(六月) 町女性連絡協議会結成総会</p> <p>(七月) 町平和コンサート94開催</p> <p>(七月) 町小口資金融資制度を開設</p> | <p>(八月) 第一回西原カップ開催(二十七日)</p> <p>(十月) 町各種団体との行政懇談会</p> <p>(十一月) 町制施行十五周年記念事業・運玉森植樹</p> <p>(十二月) 西原小学校コンピュータ教室CAI導入オープニングセレモニー</p> <p>(十月) 沖繩戦終戦五十周年記念事業検討委員会委員職状交付式</p> <p>(七月) 平和事業推進検討委員会委員職状交付式</p> <p>(八月) 町女性職員によるまちづくりの集い開催</p> <p>(九月) 町森林保全調査整備計画策定委員会が同計画を答申</p> <p>(四月) 内閣配水池落成式</p> <p>(五月) 西原南小学校水泳プール落成式</p> <p>(六月) 在宅老人介護支援センターを「守礼の里」に開設</p> <p>(七月) 町道路網及び水系調整整備計画検討委員会が調査資料の答申</p> <p>(七月) 太平洋戦争・沖繩戦終戦五十周年記念事業・西原南小学校植樹祭</p> <p>(十月) 平成七年度行政懇談会(十一月十五日)</p> <p>(十一月) 終戦五十周年町戦没者追悼式</p> <p>(十二月) 経営者サミット</p> <p>平成八年</p> <p>(二月) 第四十六回県植樹祭</p> <p>(三月) 町カルチャーパーク構想検討委員会が同構想(案)を答申</p> <p>(三月) 行政改革推進委員会委員職状交付</p> <p>(七月) MTP埋立免許取得祝賀会</p> <p>(八月) 在宅介護支援センター相談協力員委員職状交付式</p> <p>(四月) 町地域公民館設置許可証交付(十三行政区)</p> <p>(五月) 「交通安全の町」広告塔除幕式</p> <p>(五月) 町生涯学習まちづくり推進本部設置検討委員会委員職状交付</p> <p>(五月) 在宅老人くらし重度身体障害者緊急通報システム事業開始</p> <p>(五月) マ町行政改革推進委員会が「西原町行政改革推進大綱について」答申</p> <p>(五月) 当初の町営住宅である「町営上原住宅」の落成入居式</p> <p>(五月) MTP(中城湾港・西原与那原地区)埋立事業の起工式、祝賀会</p> <p>(六月) 第三回町平和コンサート</p> <p>(七月) 「町史・西原の考古」出版祝賀会</p> <p>(八月) 町民三万人を突破・比嘉竜希ちゃん10歳、字上原七十七番地</p> <p>(八月) 第三回西原カップ開催</p> <p>(十月) 平安恒政氏、西原町長退任</p> <p>(十月) 小川良夫氏、助役退任</p> <p>(十月) 稲福恭助氏、教育長退任</p> |
|---|---|

女性の権利侵害、基地、暴力について学ぶ

— 第四回 女性リーダーの集い —

町内の女性リーダーら約四十人が、九月二十四日午後、西原共同福祉施設で、「第四回女性リーダーの集い」を開催しました。

この集いは、西原町が主催し、男女参画社会に向けた女性の地位向上と社会参加促進のため、町内の女性リーダーらに女性問題を様々な角度から学んでもらおうと開かれていたもので、今回で四回目。今回は、高里鈴代さん(基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表)を講師に迎え、「女性と人権・暴力」について学習しました。

高里さんは、米軍基地が町面積の八十パーセントを占める嘉手納町や市の中央部を占める宜野湾市の普天間基地などをあげ、安全、財政、教育等各方面に直接与える悪影響を述べました。

また、日本国土全体の〇・六パーセントの面積しかない沖縄に、日本の米軍基地の七

十五パーセントがある現実、さらにその沖縄の二十パーセントの土地にフェンスという目に見える壁と日米安保条約に基づく日米地位協定等の目に見えない壁に守られた五万二千人の米軍人・軍属などが住み、残り八十パーセントの土地に百二十三万人県民(本島内には約百万人)が住むという事実を述べ、単に基地が占める面積のみの問題ではなく、そこから派生する日常的な爆音・事件・事故、核疑惑、毒ガス輸送、軍隊の訓練内容、訓練のない時間を兵士はどう過ごしているのか、といった問題にも触れ、沖縄の女性の権利侵害の多くはこのような基地・軍隊の存在に由来していることが圧倒的に多いことを指摘しました。その例として、戦時中から昨年九月に

起こった米兵による少女暴行事件まで五、六の事件の例をあげ、「住民票もない米軍人たちが基地フェンスの外に出るのに何の支障もなく、私たちが基地フェンスの中に入るには、その理由に応じた許可証などの様々な制約を受けるおかしさ」、「基地内につれてまわってしまうと日本の警察も

法律の適用が困難になる偏った制度の在り方」など、基地の存在自体が引き起こす様々な問題を指摘しました。

また、私たちの問題意識について触れ、新聞報道などに、

マスコミの取り上げ方を例

に、「女性の被害者について

は詳しくするほどよく書かれて

いるのに肝心の加害者である

米軍兵士についての記述が

ほとんどないのは、記事を書く

記者がほとんど男性である

ことに象徴されるように、現在の社会が男性中心社会である

ため、女性に向けられる暴力

があまりにも過小に位置付け

られているのではないかと述べ

ました。

強姦というむごい人権侵害

を受けた被害者がその事実を

必死になって隠してきたことは

被害者のためにならず、か

えって加害者を守ってしまう

ことになること、また被害者

らがそうせざるを得ない状況

にある社会はおかしいと述べ、

「基地があるから仕方が

ない」とあきらめていないか、

基地内で起こった事件は被害

者にも落ち度があるのではと

いう意識がないか。おかしいことはおかしいと、被害に遭った人々が声をあげて抗議のために立ち上がり、声をあげた人をみんなで支援していくべき」と強調しました。

また、講演後には、高里さ

んを交えての懇親会も行わ

れ、「女性の権利侵害に対し

て」具体的にはどのように行

動したらよいのか」、「高里さ

んらが『アメリカ・ピース

キャラバン』で行った『五つ

の要請』の中で、特に海兵隊

を取り上げているのはなぜ

か」など、「基地の存在」自

体を含む様々な構造的な問題

について、提言や意見などが

活発に交わされました。

※後日、高里さんは、基地問

題を女性への性暴力、人権侵

害の問題ととらえ、広く社会

に訴えた行動力が評価され、

社会的に有意義な活動をし、

女性の地位向上に貢献した女

性に贈られる「エイボン女

性年度賞」(エイボン女性文

化センター主催)の一九九六

年度功績賞を受賞しました。



△「女性の権利侵害、基地、暴力について」学んだ第4回女性リーダーの集い



△各種目に熱戦が展開された第17回町陸上競技大会から。

走った、投げた、記録出た!

八個の大会新記録が誕生

町体育協会

(稲福恭助会長)

主催による「第十七回町民陸上競技大会」が、九月二十二日、町民陸上競技場で、「より速く、より高く、より遠くへ」をスローガンに開催され、小学生からお年寄りまで幅広い年代層の町民が参加しました。

この大会は、第二十四回中

頭郡陸上競技大会への町代表

選手の選考も兼ねているとあ

って、各選手が各種目に日頃

鍛えた体と技を発揮し、八個

の大会新記録がでるなど、熱

戦を展開しました。

会場には各行政区のテント

が朝早くから所狭しと立ち並

び、駆けつけた区民らが、代

表選手に、太鼓や指笛、拍手

など熱い声援を送っていました。

また、スポーツ功労者や功

労団体、優良競技者の表彰も

行われました。

なお、同大会における団体

成績及び記録樹立者、スポー

ツ功労者・団体、優良競技者

らは次の通り(敬称略)。

【第十七回西原町陸上競技大

会結果】

《男子の部》

▽一位・坂田▽二位・兼久

▽三位・棚原

《女子の部》

▽一位・上原▽二位・小那覇

▽三位・県営内間団地

《男女総合(陸上)》

▽一位・兼久▽二位・坂田

▽三位・上原

《夏季総合》

▽一位・兼久▽二位・県営内

間団地▽三位・坂田

《総合「男女総合(陸上)」+

夏季総合》

▽一位・兼久▽二位・県営内

間団地▽三位・坂田

《大会新記録》

《一般男子一五〇〇メートル》

▽谷久保達弥(棚原、四分二

十一秒三)▽城間敏昭

(平園、四分二十二秒八)

▽崎浜英郁(翁長、四分

三十五秒七)

※旧記録「谷久保達弥(棚原、

四分三十五秒九、一九九

五年)】

《一般男子五〇〇メートル》

▽谷久保達弥(棚原、十六分

〇四秒二)

※旧記録「伊波康成(棚原、

十六分二十七秒五、一九

九〇年)】

《三十代一五〇〇メートル》

▽三橋吉春(兼久、四分四

十六秒四)

※旧記録「普天間邦光(県営

内間団地、四分四十六秒

五五、一九九三年)】

《四十代八〇〇メートル》

▽呉屋重雄(呉屋、二分二十

五秒二)

※旧記録「前泊正義(六区、

二分二十五秒五)】

《一般女子八〇〇メートル》

▽平良弥生(坂田、二分

三十四秒六)

※旧記録「平良弥生(坂田、

二分三十五秒二、一九九

五年)】

《一般女子砲丸投》

▽上江洲礼子(西原ハイッ、

八メートル三十七センチ)

※旧記録「城間つや子(六区、

八メートル二十八センチ、

一九七七年)】

【功労者(一)内は推薦団体】

▽伊波清孝(棚原自治会)

▽玉那覇馨(町体育協会)

▽優秀競技者(一)内は推薦団体

▽欽本勝美(棚原自治会)

▽我謝淳(町体育協会)

▽我謝正精(町体育協会)



△2種目で大会新記録を出した谷久保達弥さん(棚原)

ートボール部)▽城間清一

(町体育協会ゲートボール

部)▽新里善正(町体育協

会ゲートボール部)▽安谷

屋昌夫(町体育協会ゲート

ボール部)▽中山博光(町

体育協会バレーボール部)

▽大城孝一(町体育協会バ

レーボール部)

【優秀競技者(一)内は推薦団体

▽欽本勝美(棚原自治会)

▽我謝淳(町体育協会)

▽我謝正精(町体育協会)

(町体育協会バレーボール

部)▽城間孝一(町体育

協会バレーボール部)▽与

那嶺恵子(町体育協会)

バレーボール部)▽奥浜誉(西

原サッカークラブ)▽中山

照雄(町体育協会ソフトボ

ール部)▽大城文子(坂田

自治会)▽谷久保達弥(町

体育協会陸上部)▽平良弥

生(町体育協会陸上部)

【優良団体(一)内は推薦団体

▽掛保久ゲートボールチー

ム(町体育協会ゲートボー

ル部)▽小那覇老人会(町

体育協会ゲートボール部)

▽棚原ゲートボールチーム

(町体育協会ゲートボール部)

健康は歩いて来ない、 だから つくりに 行くんだよ

— いきいき健康フェスタ'96を開催 —

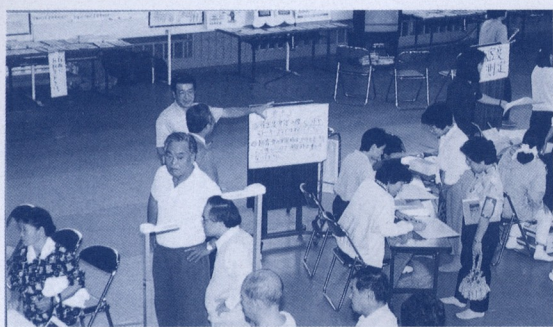
本町と町教育委員会では、十月十日体育の日、町民体育館と町民陸上競技場、兼久ゲートボール場を会場に、「いきいき健康フェスタ'96」を開催し、健康に関心のある町民でにぎわいました。

町民体育館では、体内脂肪

また、体育館の半分を使って、スポーツ少年団らの体力測定等も行われました。

ほかにも町民陸上競技場ではグラウンドゴルフ、兼久ゲートボール場ではゲートボールなど、「体育の日」にちなんだ子どもからお年寄りまでそれぞれの体力にあった軽スポーツも行われ、各会場とも和やかな雰囲気包まれていました。

開催に先立ちあいさつした翁長正貞町長は「現在は『健康を守る時代』から『健康をつくる時代』になっています。各会場、各コーナーで健康全



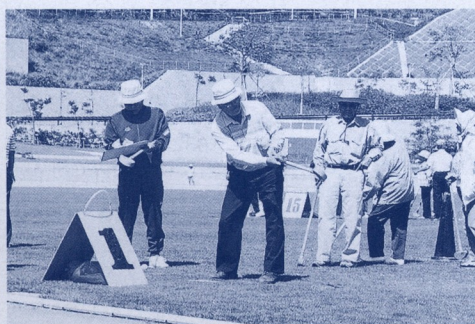
△たくさんの町民でにぎわった「健康度チェック・コーナー」(いきいきフェスタ'96から)。

今回から専門家による施術が受けられる「はり・灸・マッサージのコーナー」や絵本の読み聞かせと絵本紹介の「心を育てる育児コーナー」も設けられ、訪れた町民の関心を集めていました。

「学校給食コーナー」、ゴミ減量化・リサイクル・無公害石鹸などを紹介した「環境コーナー」、「薬草展示コーナー」、各種「パネル展示コーナー」などたくさんのコーナーが設けられ、各コーナーともににぎわっていました。

健康と仲間づくりを グラウンド・ゴルフで

— 平成8年度西原町敬老スポーツ大会 —



△グラウンド・ゴルフで健康と仲間づくり
(平成8年度 西原町敬老スポーツ大会から)

高齢者の健康増進と地域交流を深めようと、本町では十月一日、町民陸上競技場で「平成8年度西原町敬老スポーツ大会」を開催し、町内在住の六十歳から七十九歳までのお年寄りが参加してグラウンドゴルフで交流しました。大会には各行政区から三十

九チーム、約百二十人が参加し、参加者は一打一打お互いにアドバイスをしたり素晴らしいショットには拍手したりと、仲良く和やかにグラウンドゴルフを楽しみました。

また、大会後には懇親会もあり、大会でのお互いのプレーなどを話題に、雑談に花を咲かせていました。

なお、成績は次の通り(各種目とも一位のみ。敬称略)。

【団体】▽一位・小波津B
(伊野波盛哉、真喜屋実安、糸数ヨシ子)

【個人】

《男子》一位・伊野波盛哉

(小波津B)

《女子》一位・新垣テル子

(美咲C)

電話の加入権の公売

町税徴収と滞納町税の円滑な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

公売実施日

平成8年11月15日(金) ※受付14:00~14:30
西原町役場2階大会議室
※印鑑(認印)を持参して下さい。
詳しいことは、西原町役場税務課へ
☎945-4729 (内線144)



△浦添市ハーモニーセンターを視察する町女団協のみなさん。

町女団協が県内の女性施設を視察

西原町女性団体連絡協議会(=町女団協、宮城幸子会長)では、10月7日、女性行政の拠点として望ましい施設を考えるため、県内の女性行政施設の視察をしました。

今回視察したのは、県女性総合センター“ているる”(那覇市西3-11-1)と浦添市ハーモニーセンター(浦添市安波茶123)の2カ所。“ているる”は、県の肝入りで、平和で豊かな社会を共につくる男女共同参画社会の実現を目指し、今年8月に開館、各種の情報提供や相談事業などを行っています。浦添市ハーモニーセンターは、「青年や女性らの仲間づくり・活動の場」と、平成5年に開館、今では年間に延べ5万人に利用されています。

町女団協の一行は、施設の沿革など一通り説明を受けた後、実際に施設内を見て回りました。

視察した会員らは「会議室や喫茶室、茶室、音楽室など女性たちが様々な活動をするのに大変便利。西原町にもこのような施設があれば」、「西原町や他市町村にもこのような施設ができれば、“ているる”やハーモニーセンターなどと提携して全県的に女性行政が推進できるのでは」などと感想を述べていました。



△沖縄の青い海に、都留市の子どもたちも大はしゃぎ。

都留市から“ふれあいの旅”一行が来町

つるし
—平成8年度都留市・西原町交流事業—

「第6回青少年ふれあいの旅」の一行(団長・清水明正都留市校長会長)39名が、7月25日から7月28日までの4日間にわたり沖縄県を来訪しました。主催は同実行委員会(会長・横山守都留市教育長)。

7月26日午前、西原町を訪れた一行を歓迎して、町教育委員会では、午前は町中央公民館で歓迎レセプションと昼食会、午後は宜野湾市海海水浴ビーチに場所を移して海水浴、引き続き西原運動公園内でバーベキューを囲み交流しました。本町からは児童生徒や関係者ら73名が参加、友情と連携の精神を育みました。



△モロヘイヤを利用した、幅広い種類の料理が出品された。

モロヘイヤ料理の可能性を探る

—町生活改善グループが料理展示交流会—

町生活改善グループ(与那嶺和子会長)は、9月28日午後、西原共同福祉施設2階で、モロヘイヤ料理展示交流会を開催し、30余人が参加しました。

同改善グループは、30数年にわたり地域等の生産物を活用した料理の開発を通して農業振興と地域活性化に貢献してきました。

今回は、モロヘイヤを利用して、ナントウ、ジュシー、ポーポーといった郷土料理、ドラ焼き、饅頭などの和菓子から、カステラ、ババロアといった西洋菓子まで、工夫を凝らした幅広い種類の料理が出品されました。

参加者たちは、ひとつひとつの作品を見て意見交換し、試食も楽しんでいました。



△第32回県身体障害者スポーツ大会で活躍した町代表のみなさんと関係者のみなさん。

第32回県身体障害者スポーツ大会で町勢が活躍

9月22日、平良市陸上競技場で「第32回県身体障害者スポーツ大会」が行われました。同スポーツ大会は、身体障害者がスポーツを通じて機能回復・体力維持増強を図り、希望と勇気を持ってたくましく生きて行く能力を育てようと、沖縄県ほか2団体が主催して毎年開いているもの。

西原町からは、西原町身体障害者協会(玉那覇俊雄会長)の11名が代表選手として参加、各種競技に技術と体力を競い合いました。

なお、参加選手名と結果は次の通り(敬称略)。▽玉那覇俊雄(砲丸投2位)▽玉城康雄(立ち幅跳び1位)▽喜屋武良春(ソフトボール投4位)▽仲宗根輝政(ソフトボール投7位)▽宮平助徳(卓球3位)▽糸数ノリ子(ソフトボール投1位)▽奥原陽子(ソフトボール投4位)▽祝嶺由紀子(砲丸投2位)▽外間恵姿(砲丸投2位)▽島袋栄次(ハンドボール投5位)▽崎原盛男(100m4位)

空手資料館が上原にオープン

空手の歴史や道具など空手に関する資料を集めた「県空手道場古武道歴史資料館」が、このほど拳志会館（上原百四十七番地の二、外間アパート）内に開館し、その開館式典が、十月十一日午後、同館で催されました。

また、同館玄関前には、空手の発祥地である沖縄を明記した「琉球国技 空手発祥之地」と彫られた石碑も建立され、この日関係者らが見守るなか除幕してその完成を祝いました。



△空手の道具や文書など空手に関するものが所狭しと陳列されている「県空手道古武道歴史資料館」。



▷空手の発祥地は沖縄であることを明記した石碑も建立された。

同資料館は、沖縄剛柔拳志会空手道古武道総本部の外間哲弘会長が建設したもので、一階が道場、二階が資料館となっています。二階の資料館には、沖縄の空手の歴史を示す写真や文献、武具、身体を鍛える道具などが所狭しと並べられています。また、海外からの空手研修生の宿泊施設もあります。

外間会長は「海外では、沖縄が空手の総本山と位置付けられ、これまで百カ国余りから研修のため来館しています。また、今回の皆さんの方々の善意と協力により石碑が建立され、うれしく思います。今後は、資料館と合わせ、県内はもちろん国内外との交流を深めていきたい」と抱負を述べていました。

町史だより
—No.15—

西原の方言 ①

タナバル
棚原編

町史編集室では、新

たに『西原町史』第九巻・資料編八「西原の教育・人物・言語」の編集作業に入っています。そのなかの「言語」については現在、町内旧集落の方言調査を行っています。

方言調査は、沖縄言語研究センター（琉球大学内）の調査票にもとづいて、約1000の単語をひとつひとつ聞いて記録していきます。

棚原では、伊波ウトさん、比嘉茂子さん、比嘉キヨ子さんに棚原クトゥバを教えていただきました。

「棚原クトゥバはジコーウムサンドー（とつてもおもしろいよ）、ニアギ三サギ（二上げ三下げ）といったね、言葉の調子が二音、三音）上がったり下がったり。どこにいても話すことをきいたら棚原の人はすぐわかりよった。」と話すウトさん。なんでも棚原クトゥバは、大里村宇大城や与那城村宇屋慶名、中頭郡嘉手納町宇野国の言葉に似て

いるとか。

「学校でもいろんな部落からくるでしょ。棚原の人は『タナバラ、タナバラ、イッターマーカイガー』とい

って棚原クトゥバをまねされたからかわれたけど、負けなかったよね。」と茂子さんとキヨ子さんもなつかしそう。

ちなみに戦前の学校とは現・西原中学校の敷地にあつて、ウトさん・茂子さんの通っていたときは西原尋常高等小学校、キヨ子さんのときは西原国民学校（昭和十六年校名変更）の名称でした。

ウトさん・茂子さんの話しのとおり、棚原クトゥバは聞けば聞くほどおもしろい。

男の若者・女の若者についても、いろんなことが使われていたようです。たとえば男の若者の総称はニーシェーターですが、長男にはアフィで、長女はアバー、二女からはアバーグワーと呼びます。

また、既婚の女性にはアン

グワー、未婚者はアバーグワーとなるようです。さらに既婚者は、長男嫁がアングワー次男嫁にはバーチー、三男以下の嫁にはバーチーグワーと呼び分けていたというからびっくり。

このごろでは生活のなかで方言を使わなくなってきたいるため、調査の中で「これはなんといいますか？」と尋ねても「んーなんだっかねー」となかなかでてこない場合もあります。みなさん一生懸命思い出してください。

そのとき聞く方も聞かれる方も「あー、やっぱり方言は残しておかないとね。」とお互いに再確認させられるのです。

「棚原クトゥバも今ではやわらかくなったよー。」とウトさんがいうように、方言は失われつつもあり、またシマ社会という枠がなくなった現在では、他地域のコトバと入り交じって変化しているのでしょう。

町民のみなさん、次はあなたのとこに調査にうかがうかもしれません。そのときはユタシクウニゲーサビラ。

募集

東部消防組合職員(救命士)

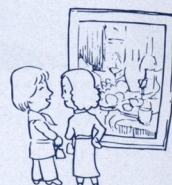
●試験の日時：平成8年12月9日(月) 午前9時30分
●申込受付：平成8年11月18日～12月5日
●願書交付及び問い合わせ先：東部消防本部 総務課 ☎ 098-945-2200

展示 11/8(金)～11/10(日)
舞台 11/16(土)～11/17(日)

第4回西原町文化祭開催のお知らせ

テーマ：「継承・創造・躍進」

お知らせ
でーびる



案内・募集

11月

1. 趣 旨

各部会の優れた芸能や作品をひらく町民に公開して芸術鑑賞の気運を高め、文化の創造と振興に努める。
また、すぐれた芸術文化活動の普及発展に寄与するとともに、町民の芸術文化の向上を図る。

2. 主 催

西原町文化協会

3. 後 援

西原町、西原町教育委員会、沖縄タイムス、琉球新報、沖縄テレビ、琉球放送、NHK沖縄放送局、
ラジオ沖縄、FM沖縄(順不同)

4. 事業内容

展示部門と舞台部門とする。

(1) 展示部門は次の部会別に展示

美術工芸、書道、華道、写真、花卉園芸

(2) 舞台部門は次の部会

古典音楽、民謡、洋楽、琉舞、武術、琉球箏、太鼓、日舞、大正琴

5. 開催日時

展示部門

11月8日(金)～11月10日(日)

午前10時～午後7時

※作品の搬入は11月7日(木)、搬出は11月11日(月)

舞台部門

11月16日(土)～11月17日(日)

※リハーサルは11月13日(水)～11月15日(金)

6. 開催場所

展示部門・・・西原町民体育館

舞台部門・・・西原町中央公民館

〈舞台部門〉(町中央公民館)

11月16日(土)

午後 6時30分～9時

大正琴部会・民謡部会

11月17日(日)

午後1時～2時10分・武術部会

午後2時10分～3時20分・洋楽部会

午後3時20分～4時30分・日舞部会

午後6時30分～9時30分・古典芸能

《文化祭日程》

〈オープニング・セレモニー〉

11月8日(金)(午前10時、町民体育館)

〈展示部門〉(町民体育館)

午前10時～午後7時

11月8日(金)～11月10日(日)

「和と輪で創る 未来ステージ」をスローガンに、
伝統芸能や軽スポーツを通して、幅広い世代交流を

中部地区生きがいフェスティバル

1. 主 催：中部地区老人クラブ連合会

2. 期 日：平成8年11月24日(日) 10時～16時

3. 場 所：県総合運動公園内

レクリエーションドーム

4. 主な内容：

1) 三代代(保育園児から老人クラブ)による
舞台発表

2) 軽スポーツ体験コーナー(景品あり)

【グラウンドゴルフ・ターゲットバードゴルフ・
ペタンク・ダーツ等】

5. 入場無料：(どなたでも参加できます)

6. 連絡先：中部地区老人クラブ連合会事務局

☎933-5645(担当 与古田)

国の教育ローン 年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に十年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。
また、この貸付は、沖縄振興開発金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

〈融資金額〉学生・生徒一人につき

厚生年金保険加入中の方 百万円以内

国民年金加入中の方 五十万円以内

〈融資利率〉年三・四〇％(平成八年九月一日現在)

〈返済期間〉八年以内(据置期間は在学期間内で最長四年)

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

(社)沖縄県年金福祉協会 ☎〇九八八六六六九五五

11月23日(土)～24日(日) 平成8年度 産業展示会 (町民体育館
11/23=13:00～17:00、11/24=9:00～16:00)

町民のみなさん、ぜひご来場下さい！

平成8年度 産業展示会開催のお知らせ

農産物、農産加工品、手工芸品、花卉盆栽及び町内事業所の商工業製品等も展示し広く町民に紹介していきます。

また、展示会期間中、野菜や商工業製品等の即売及び“フリーマーケット”を開催し資源の再利用をしていきたいと思ひます。町民の御来場をお待ちしております。

◎日 時：平成8年11月23日(土) 13:00～17:00

11月24日(日) 9:00～16:00

◎場 所：町民体育館

◆問い合わせ 西原町役場

産業課 ☎945-4540

西原町役場内に

『税金相談コーナー』開設!!

お気軽にご相談ください。

日 時：平成8年11月12日(火) 午前10時半～午後4時
場 所：西原町役場2階会議室



相続税、贈与税、消費税、不動産取得税、
町・県民税、固定資産税

国税・県税・町税務課職員・税理士が無料で相談に応じます。

税金相談
コーナー

『税を知る週間』は11月11日～17日

期間中、ミニ税金展を役場ロビーにて開設

北那覇税務署、那覇県税事務所、西原町役場税務課

人権週間
12/4～12/10

『第48回人権週間』!!

「世界人権宣言」は、1948年(昭和23年)12月10日に国際連合で採択されました。これを記念して国際連合は12月10日を「人権デー」と定め、すべての加盟国に対し、人権思想の啓発のための行事を毎年実施するように要請しています。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、世界人権宣言採択の日を最終日とする1週間、12月4日から10日までを「人権週間」として広く国民に呼びかけ、人権意識の普及高揚を図っています。

県下においても那覇地方務局と沖縄県人権擁護委員連合会が中心となり、各地で街頭パレード・特設人権相談所の開設・講演会・座談会等の開催を計画しております。

今回の人権週間の強調事項は、

○子どもの人権を守ろうー「いじめ」／しない・させない・見逃さないー

○国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう

○部落差別をなくそう

○女性の地位を高めよう

○障害者の完全参加と平等を実現しよう

○高齢者の住みやすい社会を築こう

となっています。

なかでも、いじめ、体罰、不登校児など子どもをめぐる人権問題が大きな社会問題となっていますが、次代を担う子どもの人権を積極的に擁護することが必要です。

人権週を迎えるに当たって、もう一度憲法に定める基本的人権の精神を十分かみしめて、これを社会に反映していきたいものです。

この機会に人権擁護機関のご紹介をします。

人権問題の解決のため、法務局人権擁護課及びその支局並びに各市町村から推薦され法務大臣が委嘱した人権擁護委員が、地域社会の気軽に相談できる機関として配置されています。

相談は無料で、秘密を守り、手続きはいりません。

当町には、次の方々の人権擁護委員として活動されております。

氏 名	住 所	電 話
新 垣 佳 宏	西原町字与那城265番地の2	098-945-2774
外 間 政 弘	西原町嘉手苅86番地の2	098-945-0919
下 地 郁 子	西原町字呉屋94番地の2	098-945-1349

平成9年度

国立沖縄海員学校の生徒募集のお知らせ

- 募集定員 本科40名(修業年限3ヵ年)
- 受験資格 平成9年4月1日現在で、満15才以上19才未満の男女
中学校卒業者(卒業見込みの者を含む)
◎一般入試 ◎推薦入試
- 願書受付 ◆平成9年 1月10日～2月7日 ◆平成9年 1月10日～1月23日
- 試験科目 ◆国語・数学・英語 ◆書類審査・作文・面接
- 試験日 ◆2月16日(日) ◆1月27日(月)
- 試験地 沖縄県：石川市、那覇市、名護市、平良市、石垣市
鹿児島県：名瀬市(但し、推薦入学試験は本校のみ)

●取得資格 4級小型船舶操縦士(国)、ガス溶接技能講習修了証(国)、
4級海技士(航海・機関)(国)筆記免除、

※詳細については、沖縄海員学校教務課 098(964)3595
にお問い合わせ下さい。 098(964)2595

11月26日(火) 特設人権相談所の開設

(午前10時～午後4時、町中央公民館、
人権問題、土地、住宅、金銭貸借、相続、
戸籍、登記、その他法律問題)

11月(NOV.) 行事・祭事予定表

- 1日(金)○ボランティア・センター開所(14:00、町社協センター)
 2日(土)○保育まつり(9:00、町中央公民館、～2日)
 ○坂田小学校学芸会
 3日(日)○文化の日
 ○第16回 OTV杯ママさんバレーボールシニア大会
 (9:00、町民体育館)
 4日(月)○振替休日
 5日(火)○町社会福祉協議会法人化20周年記念式典・祝賀会
 (14:00、町中央公民館)
 8日(金)○西原町文化祭(町中央公民館、展示の部、～10日)
 10日(日)○各区対抗壮年ソフトボール大会
 16日(土)○西原町文化祭(町中央公民館、舞台の部、～17日)
 ○坂田小学校創立50周年記念式典・祝賀会
 (14:00、同校体育館)
 17日(日)○西原南小学校学芸会
 23日(土)○産業展示会(町民体育館、11/23＝13:00～17:00、
 11/24＝9:00～16:00)
 ○勤労感謝の日
 26日(火)○特設人権相談所(10:00～16:00、町中央公民館)

12月(DEC.) 行事・祭事予定表

- 1日(日)○福祉ふれあい運動会(9:00、町民体育館)
 7日(土)○生涯学習フェスティバル
 (展示 10:00～18:00、舞台 18:00～21:00)
 (講演会 14:00～16:00、～8日(日))

(※都合により日程変更もあります。おでかけの際は、予めご確認を。)

おわびと訂正

※先月号で次の通り誤りがありました。おわびして訂正します。
 ▽二頁「町民三万人目に比嘉竜希ちゃん」の「竜希」の読み方は、「たつき」ではなく「りゅうき」の誤り。
 ▽四頁「長寿者への慶祝訪問写真の解説文中、「大城幸敏さん」は「大城孝敏さん」の誤り。
 ▽五頁「カジマヤー」の文中、「平成九年九月十五日現在」とあるのは、「平成八年」の誤り。

「犯罪捜査に御協力を」

犯人を検挙し、事件を解決するためには、町民の皆さんの犯罪捜査に対する御理解と御協力は欠かすことのできないものとなっております。そこで町民の皆さんに次の点を中心にして、犯罪捜査に対する御協力をお願いします。

- 指名手配犯人検挙に御協力を
- 「事件かな」と思ったら迷わず110番を
- 犯罪について知っていることは積極的に通報を
- 聞き込み捜査に御協力を
- 被害に遭った時は必ず届出を

浦添警察署

無料

交通事故
ご相談

●電話のご相談もお受けします

☎098-868-8950(直通)

相談日：月曜から金曜午前9時半～12時
 午後1時～4時40分(祝祭日を除く)

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。
 ◎弁護士相談日：毎月第3金曜日午後1時～4時
 (予約制・相談無料)

社団法人 日本損害保険協会

沖縄自動車保険請求相談センター

那覇市松山1-1-19 安田生命那覇ビル6階 自賛会沖縄調査事務所(☎098-861-1137)内

お知らせでーびる

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

- ▽字津花波四十番地、呉屋吉子さんが、米寿祝を記念して西原町社会福祉協議会へ十万円、西原町人材育成会へ十万円。
 ▽字安室七十五番地、喜屋武有栄さんが、米寿祝を記念して西原町社会福祉協議会へ十万円。
 ▽字翁長四百五十二番地の三、宮良澄さんが、米寿祝を記念して西原町社会福祉協議会へ一万円。
 ▽字桃原六十一番地、与那城ソルさんが、米寿祝を記念して西原町社会福祉協議会へ十万円、西原町人材育成会へ十万円。
 ▽字小波津百三十六番地、小波津裕光さんが、母ウトさんの米寿祝を記念して西原町社会福祉協議会へ十万円。
 ▽字我謝百二十九番地、呉屋カミさんが、米寿祝を記念して西原町社会福祉協議会と西原町老人クラブ連合会へそれぞれ五万円。
 ▽字翁長八百三十四番地、沖縄富士フィルム販売株式会社(代表取締役・護得久朝正)は、同社創業四十周年・株式会社沖縄フジカラー創業三十周年記念チャリティーゴルフ大会を開催し収益金を一般寄付として西原町社会福祉協議会へ十五万円。
 ▽町商工会婦人部が、チャリティーボウリング大会の収益金を一般寄付として西原町人材育成会へ十万円。
 ▽字上原六十八番地、屋良朝進さんが、故母オトさんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ十万円。
 ▽字翁長百十六番地の一、中村一男さんが、故母金城カマドさんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ五万円。

わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。(町民憲章)